

桜中毒。



ありったけのコトバを詰め込みました。
じっくり読んでもらえると嬉しいです。



- 注意 -

この本にはFate/staynight
本編では語られていない
事実が含まれますが、
これは作者の妄想以外の
何者でもありません。

ただ、あつても不思議は無く、
否定もされてい(たぶん…)ないことですので
あえて物語にさせていた
作者の身勝手を先に謝罪しておきます。

二月

まあ、^{アレ}聖杯戦争から
一年経ったワケで。
だから、えーと、あー…

…こういう時ぐらい
晴れろってのホント。



あ
今日、私もちょっと
家を空けるので



えーと、だから
どこに行くの？

ん、なんか怪しい...





あれ?



ごめんなさい

たぶん...

ホヤッ



カッ

あれ?



無駄です

知っても

カッ

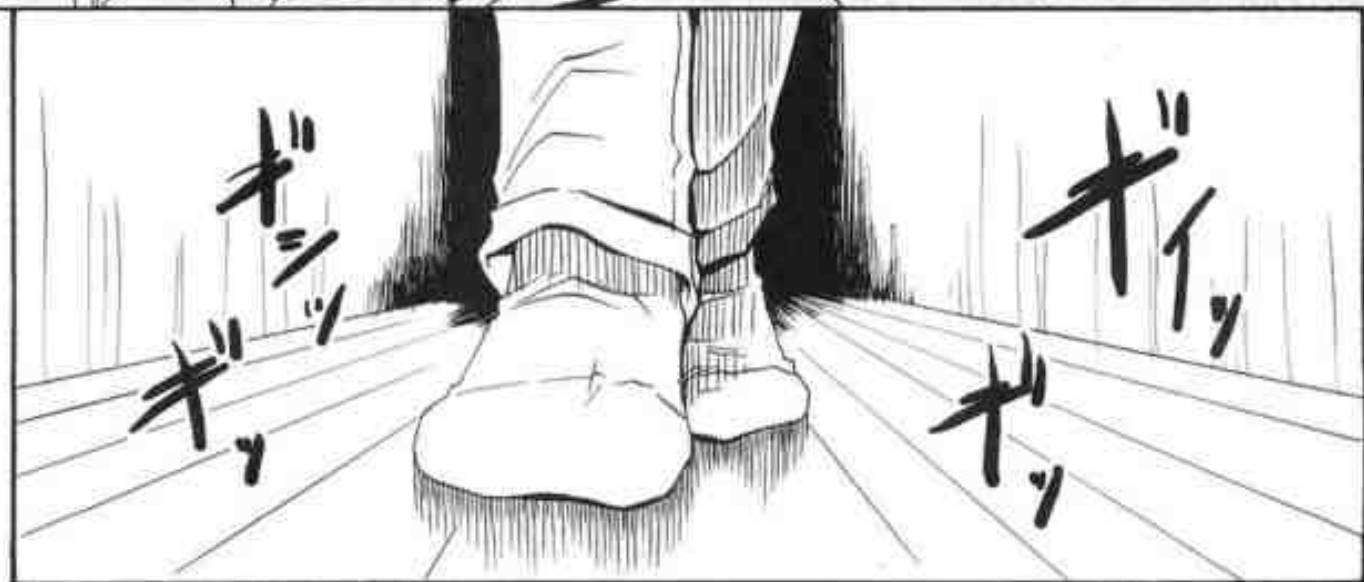
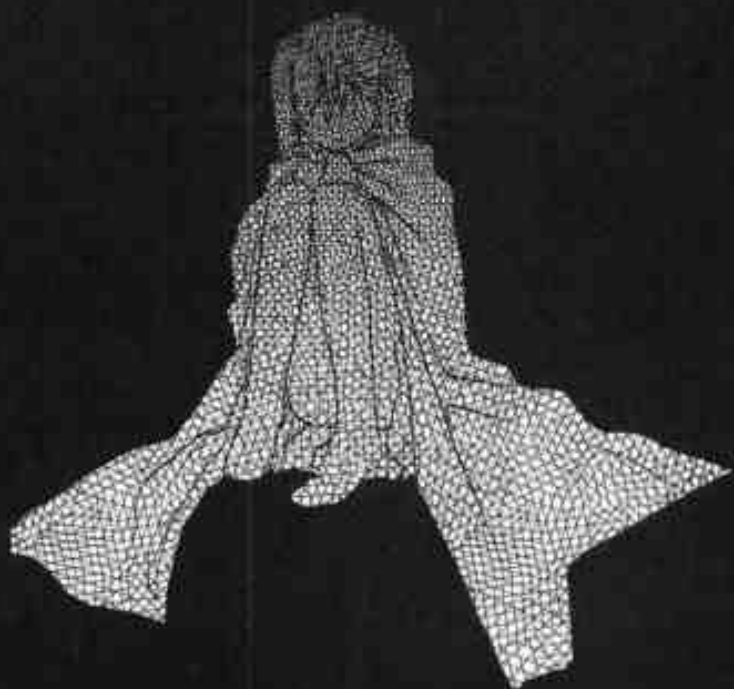
桜

中

舞。

舞



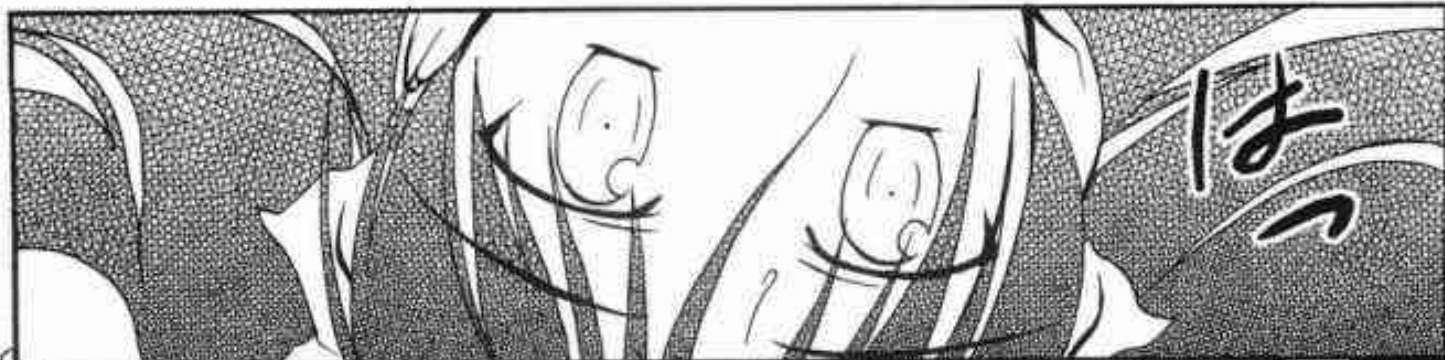




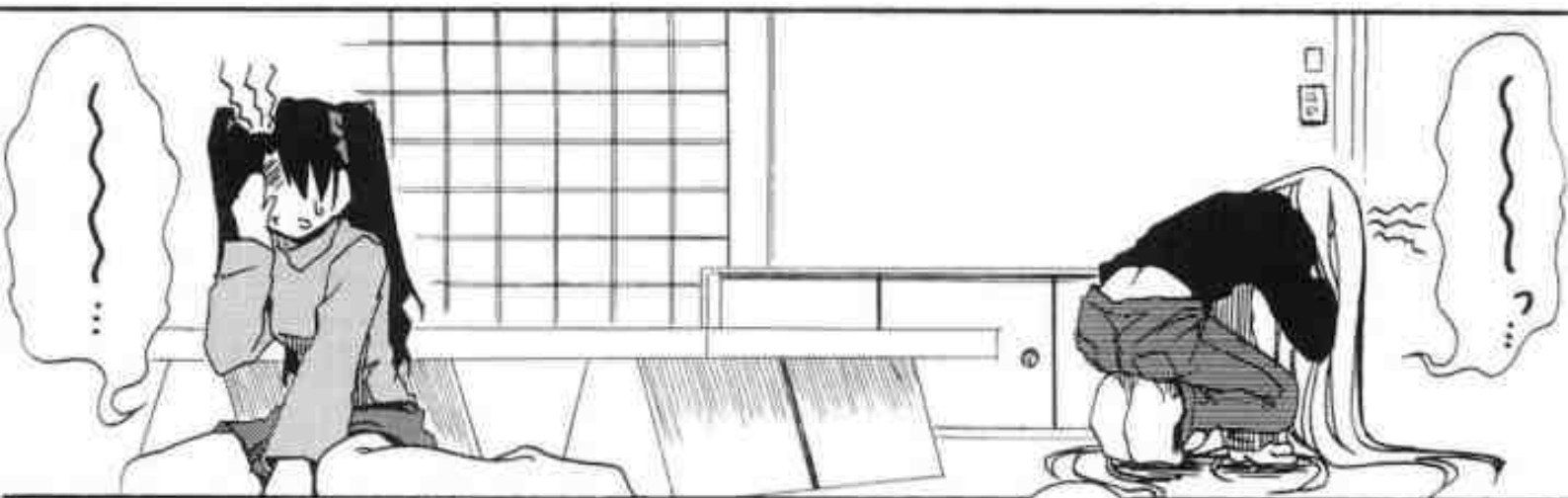


……たしかあっちの店の方が
安かった……よね……











何よイキナリ。

……？



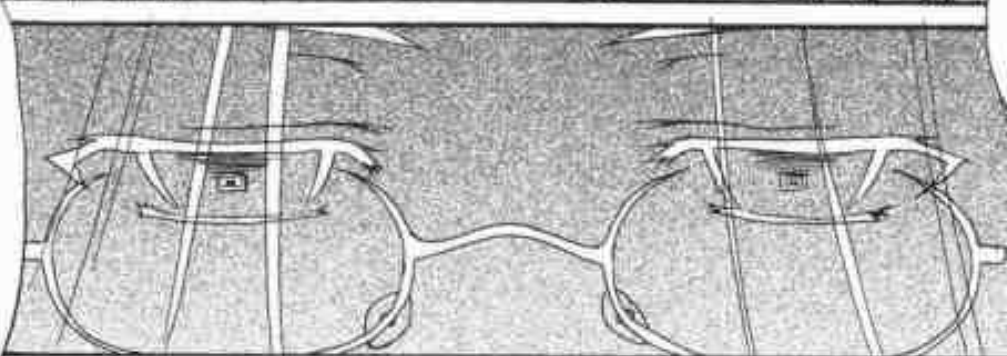
ところでリン。

私がここに住むようになって
一年になりますよね……



……はあ

私、今から独り言
言いますけど……



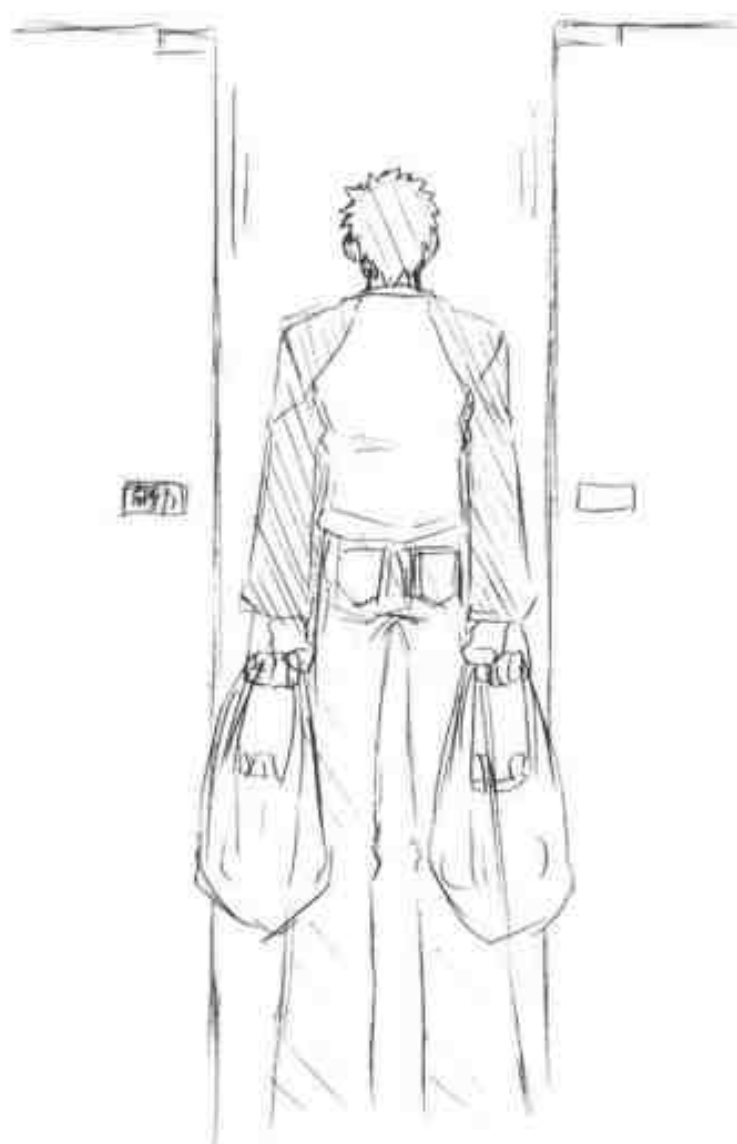
たとえば、
一年前の今日という日に
何が起こったかさえ
忘れてしまった
うっかり屋さんか

？

え……ちゅり……

うっ……かり……耳……に……して……しま……った……
と……して……も……、そ……れ……は……致……し……方……
無……い……こ……と……で……す……！







今日は
ここまでとする

明日も来るように

はい

ズルリ

ズルリ

ズル...



...

ズル



はっ

はっ



ガニッ

地下室から間桐の家へと続く
長くて暗くて、冷たい階段。

……遠い……

その、終わりの見えない暗闇は、
間桐桜^{わたし}の生そのもの。

その果ての、扉の
向こうで待つ何かを……

はあ

はっ

はあ

はあ

イ
イ

は
は
イ
イ



イ
イ
イ



で
しょうか——

私は信じてもいいの

…そんな希望さえも、
許されないのでしょうか

お勤め
ご苦労様

後継者殿

はあ

はあ……

あ

少しさがし
ちやいました

ここでしたか

こんにちは
一年ぶりですわ

兄さん

Sin
199













桜あつ！

はあ

はあ



……っ……ごめん……

全部、聞いたわ

え……ど……

だから……！



いいですか、リン？

ドクーン

ドクーン

ドクーン



桜には……



あ

え





その頃の私は、本当に兄さんのオモチャ同然で



地下室での「教育」の後、
一晩中相手をさせられたり
朝まで酷使された後、すぐに
先輩の家に行ったことだったのであります



こうう…

キッ

キッ

聖杯戦争の期日も迫り、
お爺様の教育もそれはそれは熱心で

あう…

衛宮のお家にいるとき以外、
身も心も、休まる時間など
一時もありませんでした

キッ

でもある日、
地下室で顔を
合わせるなり、

お爺様がこう言いました。



『桜よ。今日から休暇をやるわ。
お前が来たいと思うまで来なくて良い』

お爺様の愉しげな様子を
奇妙に思いながらも、

その信じられないような
言葉が与えてくれた、

初めての「自由」
という幸福を

私は噛み締めていました。

その事実を
気付くまでは



一月たつても

二月たつても

それはやって
きません
でした



ああ、おじいさま
こういうことだったんですね



あのひと
先輩には知られたくない



あのひと
兄さんには耐えられない

だから

おじいさま





アゲム

食べちゃって
ください



そっか…

みんな知ってるんだ…



あなたには…

あなたにだけは…

知られたくっ…

スッポッ

スッポッ

スッポッ

なかつたの
にいいいっ!



スッ





あなたには

敵わないんですね

あたぼうよ

私を誰と心得る



冬木の

美人姉妹の
姉なるぞ？



……



……あのね、

先輩が……ね？

卒業したら

赤ちゃん…
作らないかって

言ってくれたんです



でも…

ダメ…ムリ…っ

こんな…身も心も、
罪と穢れで一杯で…

あまつさえ、一度大切な
命を奪っている私が…





新しい命を授かるなんて
許されるわけ無い…

たとえ、神様が
許してくれたとしても…



私はその子に

一体…

何をして
あげられるだろう…



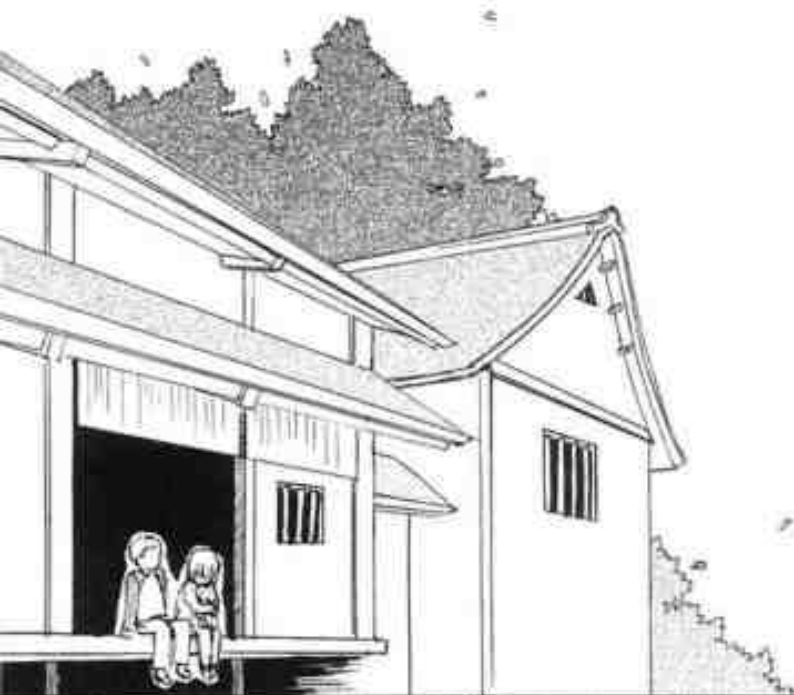
知ってるかな？

…ねえ、桜

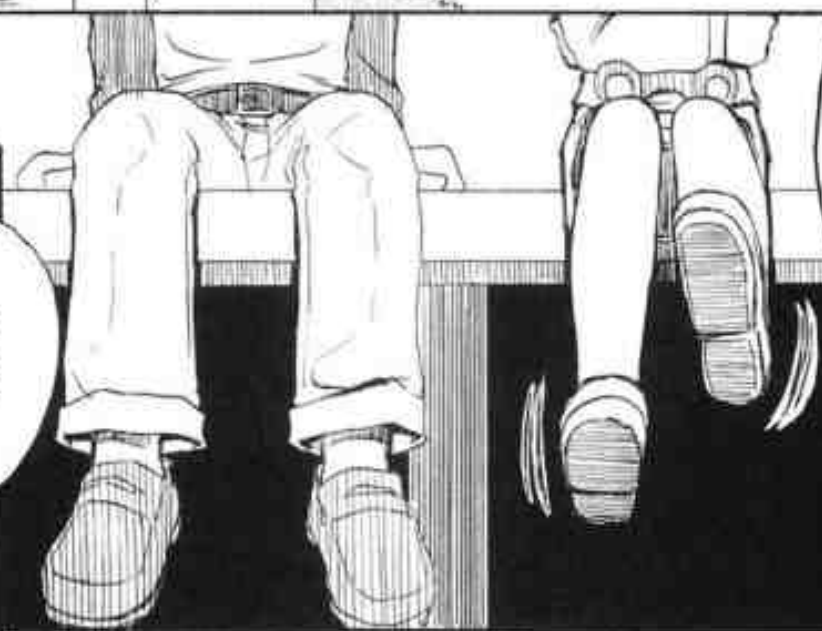


桜の花の
花言葉。





…うん



お父さんとお母さんに
会いたいな…

いつ帰って来るの？

……

二人とも
「ふーいんしてい」
だから、

もうここには
いられないんだよ

……もう

会えないの……？

くま

……大丈夫、

僕がそばにいるよ

父さんが母さんを
守ったように
僕がお前だけの
味方になる……

そして

一人でお前を守れる
くらい強くなったら……



……うん

約束だよ……？

兄さん

会いに行こう



片や、魔術師として最高の素質を
持って生まれてきた妹…



片や、魔術回路の一本さえも
持たない兄…

悲劇はもう一度
繰り返される
のではないか…

誰もがその不安に
囚われました

しかし
そんなものは
大人たちの
身勝手な心配に
過ぎないのだと

この子たちを
見ていると
そう思えてきます。

この子たちは、まっすぐ前を見つめています。

互いの幸せを確かめ合いながら、一步一步歩んでいます。

あなたたちの残した宝物をその胸に抱いて。

それは、魔術師としての知識でも、

一族に伝わる魔術刻印でもなく、

たった一つの、**花言葉……**

母の名とともに受け継がれる

『永遠の愛』。



おかえり

「飯でかてるよ」



■あとかき■

はいどーも毎度ー。

おそまつさまでした。桜本5冊目でございました。

今回はとにかくやらかしましたねー。

ツッコミ所満載ですが…勘弁してやってくださいませ…。

うん。確信犯。わかってる。怒声罵声覚悟の上。

むしろ同人のタブーに触れましたか。あはははは…

あーでも俺の命取りに来るのは勘弁して下さい。

…とりあえずもう遅いけど謝っておくか…ひどい話で御免なさい。

でも、ホント怒声でも罵声でも構わないんで感想もらえると嬉しいです。

メール待ってマース。

ただしすばやい返信は絶対に期待しないでクダサーイ（駄

ちよいと花言葉について。

『永遠の愛』というのは桜の花言葉（いっぱいある）のうちの一つです。

花言葉とか殆ど知らんのですが…一つの花にたくさんあるんですね。

桜全般でも「純潔・高尚・精神美・優れた美人etc…」だし、

色の違いとか種類の違いとか入れると覚えられないくらい。

ただ単にその中の一つ、一際くさい花言葉に「永遠の愛」ってのが

あったわけです。

自分の名前だから桜も調べるかもしれないけど、のっけから「純潔」

とか「高尚」とか「精神美」なんて言われたら、

桜だったらそれ以降聞く気になれないんじゃないかなあ→

なら知らなくても不思議じゃないよなあ→という流れで採用しました。

…まあそういうことです。

■あとの続き■

さて。

この話の骨は2003年12月にできあがっていたりします。

Fate出てねえじゃん…。

まあつまり当初は琥珀さんのネタだったわけです。

…こんなこと考えながら受験勉強してたわけですよ。ええ。

そんでもって無事受験が終わり、Fate解禁ー！桜最高ー！！

ってなテンションで自然に桜にネタ委譲したわけです。

そして2004年の夏コミ初参加&同人デビューに向け描き始めたのですが、ここで不測の事態が。

「こんな話だし最初の数ページくらい桜を幸せにしてやれ士郎」という謎のコンセプトの下で突如入れることになった士郎×桜のえちシーンが見事に膨れ上がり…一冊の本にorz

こうして生まれたのが「桜中毒。」です…orz

わかった。認める。あの頃は俺も若かった。うん。

というわけで何が言いたいのかと言いますと、

「『零』なのは最初に描きたかった話だから」ということです。

それだけ。

んでは、長々と書きましたがここらで失礼をば。

また次の本でお会いできたら嬉しいです。

願わくば、この本が無事うちのスペースに並んでいることを…

地下室から間桐の家へと続く
長くて暗くて、冷たい階段。

その、終わりの見えない暗闇は、
わたし
間桐桜の生そのもの。

その果ての、扉の
向こうで待つ何かを……

はあ

はっ

はあ

はあ





……ごめん



私……

もう行くね？

間桐桜が歩んだ

間桐桜がこれから
歩む物語は

たぶん

これでお仕舞いだから



…うん

苦しいよ

とっても痛いよ

ごめんね…

覚悟なんて
何の意味も無いの

耐えることなんて
できないの

あなたに出来るのは…

そう……ただ…

ただ、諦め続けることだけ……だった…







この日が



あなたの創る





読んで下さったあなたに

応援して下さった皆様に

桜を生み出して下さったTYPE-MOON様に

ありがとうございました。

比村奇石

■奥付■

- 発行誌名■ 『桜中毒。零』
■発行日■ 初版 2005年8月14日
 第二版 2005年11月9日
■発行者■ 比村奇石（比村乳業（仮））
■印刷所■ ねこのしっぽ様

“桜描き続けて一周年”

比村乳業 (仮)
Himura Dairy Industry

2005SUMMER